

## 「やさしい日本語」への書き換え

昨今の日本社会には、いわゆる「日本人」だけでなく日本語を母語としない人（以下では便宜上「外国人」と呼びます）も多数生活するようになってきました。日本人と外国人が社会の中で共存していくことができるようにするためには、お互いが持っている文化・生活習慣・社会的ルールの違いなどをよく理解する必要があります。例えば、日本では使わなくなったものをごみとして捨ててしまうのではなく、リサイクルして活用することが制度として確立していますが、国によっては「リサイクル」という概念そのものが存在しないこともあります。

地方自治体などでは、リサイクルの手順を広報誌や web ページなどに掲載していることがありますが、多くの場合そうした説明は、読み手として日本人だけを想定していると思われ、外国人が読んで分かりやすいものには決してなっていません。

そこで、実際に web 上に掲載されていた「家電リサイクルについて」という文書を示します。グループで話し合っ、この文書の内容を「外国人にも分かりやすく」書き換えてください。

### <作業手順>

- 1) まず、個人でこの文書を読んでください。そして、外国人がこの文書を読んだ場合、どのような箇所が難しいと感じられるかを想像し、それをワークシートに記載してください。また、日本人が読んで分かりにくいと思われる箇所があれば、それも指摘してください。
- 2) 1)で挙げた「理解が困難な箇所」を改善するためには、どのような方法が効果的かを考え、それもワークシートに記載してください。
- 3) 4人でグループを作って、各自が書いたワークシートを見せ、お互いに説明しあってください。そして、この文書にはどんな問題点があるかを整理してください。
- 4) 3)で整理した問題点を踏まえて、この文書を「外国人にも分かりやすく」書き換え、A3用紙に清書してください。

### <書き換え時の注意事項>

- 1) この文書を読む外国人には、いろいろな国の人が含まれています。英語が分かるとは限らないことに注意してください。
- 2) この文書に書かれている内容を、すべて書き換える必要はありません。不必要と思われる情報は省き、また意味の理解のために必要と思われる情報は（もとの文書に書かれていなくても）追加してもかまいません。
- 3) 必要あれば、書かれている情報の順番を変えてもかまいません。また理解を促進するためであれば、文字だけでなく、図表やイラストなどを活用してもかまいません。

## ディスカッションの進め方

グループごとに、A3用紙への書き換えが完了したら、以下の手順でディスカッションを勧めます。

- 1) 各グループの中で、ひとりだけが「ホスト」として元の席に残り、他のメンバーは「ゲスト」として他のグループに散らばってください（できるだけ、もともとと同じグループにいた人同士は違うグループに入るようにしてください）。
- 2) シャッフルしたグループの中で、まずホストが、自分たちの作った書き換えた文書を使って、新しく来たゲストに「リサイクルの手順」について説明してください。ゲストは、自分が『リサイクル』という概念をこれまでほとんど知らなかった外国人であると想定し、わかりにくいところ、納得できないところなどを質問してください。
- 3) ひと通り質疑応答が済んだら、ホストは、書き換えの際自分たちとして工夫したことがなんであったかをゲストに伝えてください。ゲストは、そうした工夫が受け手である自分たちに伝わってきたかを知らせてください（以上、約15分を目安に）。
- 4) 15分のディスカッションが終わったら、ゲストは再度元のグループに戻ります。ホストは、他のグループの人からどのようなコメントをもらったかを紹介してください。ゲストは、自分が参加したグループでどのようなことが議論されたか、他のグループではどのような「書き換えの工夫」がなされていたか、などを紹介してください（以上、約15分を目安に）。